

2021 年度（令和 3 年度）

事業報告書

一般財団法人 宇治市福祉サービス公社

2021 年度（令和 3 年度）事業報告書 目次

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括 ----- 1

重点項目実施状況 ----- 2

II 理事会・評議員会等開催状況

（1）理事会開催状況 ----- 5

（2）評議員会開催状況 ----- 8

III 役員・評議員等名簿 ----- 10

IV 事業実績

公社独自事業 ----- 11

介護保険事業 ----- 15

障害者総合支援事業 ----- 19

宇治市受託事業 ----- 21

I 事業計画の総括（事業方針と重点項目）

総括

2021年度（令和3年度）においても、新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けた取り組みに奔走した一年となり、国をはじめ京都府、宇治市の感染防止対策マニュアル等に基づき、対策を強化していた中ではあったが、デイサービスセンター内で職員や利用者に感染が拡大し、事業運営を10日間休止する事態となり、多くの関係者に影響を与える結果となった。

加えて、緊急事態宣言の発出による委託事業の延期・休止も含め、事業運営面での不安定な状況が続いたが、昨年度同様に職員が一丸となり日々の感染防止対策を最大限に講じながら、各種事業の円滑な推進に努めた。

こういった状況の中、3月25日に公社設立25周年という大きな節目を迎え、その翌日には令和4年4月からの新規事業となる短時間型通所サービス「リハビリデイサービスぽっぽ中宇治」の竣工式を挙行し、新たな事業展開の一步を踏み出すことができた。

また、改革4カ年目となる「経営改革5カ年計画」の取り組み状況については、翌年度が最終年度となることから、経営改革5カ年計画推進調整会議において、この間の取り組みについての成果と課題の検証・総括を行い、5カ年計画終了後の法人としての具体的な経営方針や目標を示していくための「中期経営戦略プラン」策定に向けた議論を進めているところである。

一方、当期の決算は、収支計算書では新規事業の工事費に手持資金を投入したため、投資・財務経費も含めて4,360千円の赤字（前期17,040千円の黒字）となったが、正味財産増減計算書では前期と比べると増益率は減少となったものの、7,210千円の増加（前期24,010千円の増加）となり、正味財産の増額を確保することができた。

しかしながら、減収増益という脆弱な財務構造の改善には至っておらず、年々減収傾向にある介護保険事業等による収益事業自体の収入改善が財務健全化に向けた課題であり、既存事業の再構築や更なる新規事業の検討等に取り組んでいくことが必須となっている。

公社の事業運営を取り巻く情勢は、慢性化している人材不足の課題や新型コロナウイルス感染症による影響等により、未だに不安定な状況に置かれているが、2021年度（令和3年度）の事業計画に掲げていた重点項目を総括する中で、翌年度以降に持ち越しとなった項目については、「中期経営戦略プラン」策定に向けた議論を進めていく中で、具体的な対策を打ち出していくこととしている。

そして、公社事業の4本柱である「公社独自事業」、「介護保険事業」、「障害者総合支援事業」、「市受託事業」をそれぞれの確に遂行し、宇治市や宇治市社会福祉協議会をはじめとする関係機関や諸団体との連携・協力のもと、宇治市域における在宅保健・福祉サービスの更なる充実・向上に寄与していけるよう取り組んでいく所存である。

重点項目実施状況

2021 年度（令和 3 年度）の重点項目については以下の通り取り組んだ。

（１）「経営改革 5 カ年計画」に基づく財務健全化への取り組みを引き続き推進する。

- ① 経営改革の大きな柱の一つとして実施している役職員の身を切る改革については、2020 年度と同様の改革を引き続き実施する。

【結果】

- 2021 年度も同様に実施した。

- ② 受託事業の採算性を向上させるために、受託事業の仕様条件、内容について宇治市との協議を継続する。

【結果】

- 個別の事業については現場レベルでの協議は開催したものの、宇治市担当課との委託事業に伴う包括的な協議の開催が十分にできず、具体的な改善には至らなかった。

- ③ 介護保険事業の増収に向けた具体的方策を提示するとともに、収益率を向上させるための人員配置やサービス提供体制の見直しを図り、「経営改革 5 カ年計画」の年次数値目標達成に取り組む。

【結果】

- 毎月 2 回の経営会議の他、月 1 回の係長会議、半期毎の経営委員会において、毎月、半期毎の収支状況についての報告と、その時点における経営課題について確認し、その都度の対応を行ってきたが、年度途中の欠員により各種加算取得ができない居宅部門や、稼働率低下に歯止めのかからないデイサービス部門への具体的な対策を講じることが出来ず、当初予算の収入を達成できない部門があった。
- 人材確保については、年度途中の退職により欠員となった部門の補充が進まず、結果的に加算取得が出来ず、職員に対しても業務負担を強いる結果となった。
- 訪問介護においては、ほほえみ介護の受講生がヘルパーとして公社へ就職し、数年ぶりにヘルパーが増える兆しが見えたことは大きい。しかし、常勤ヘルパーの採用や W ワーク等については結論を出すことが出来なかったため、引き続き重点課題として検討を進める。

- ④ 新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症対策の徹底と環境整備を推進する。

【結果】

- 昨年度に引き続き感染症対策を講じてきたが、オミクロン株のまん延時に、職員や利用者に感染者が拡大し、デイサービスセンターを 10 日間休止する等の措置を講じることとなった。
- 新型コロナウイルス感染症や自然災害等、事業運営に大きな影響を及ぼす様々なリスクを想定して、いかなる事態が起きても事業が計画的に継続できるよう CS 委員会を中心に業務継続計画を

(BCP) を策定した。

(2) 公社設立理念を踏まえた利用者、市民から期待されるこれからの公社としてのあるべき姿を示しながら各種事業を推進する。

① コンプライアンス企業として公社に求められる介護保険事業者としての役割を再確認するとともに、第8期介護保険事業計画に沿って新規事業の具体化に向けての検討作業に取り組む。

【結果】

- ・ニーズの高い介護予防事業のうち、公社の強みが生かせる要支援認定者及び事業対象者を対象とした短時間型通所サービス(介護予防目的の運動に特化したデイサービス)を令和4年度に新設するために、担当主幹を配置し準備にあたった。結果、中宇治事業所を改築し、短時間型通所サービス「リハビリデイサービスぽっぽ中宇治」を令和4年3月26日に竣工した。

② 地域福祉センターの改修を踏まえて、指定管理者として地域の介護予防・高齢者等の活動拠点となり得る活用方法の提案を行う。

【結果】

- ・新型コロナウイルス感染症により、地域での活動の制約が多い中、地域福祉センターを活用した新たな取り組みの提案、実施には至らなかった。

(3) 人材難を乗り越えるために、業務内容や役割分担の見直し、職場環境の改善等に向けた一体的な取り組みを推進する。

① 経営改革5カ年計画推進調整会議や「当面の経営方針」で示された職員定数の考え方に沿って定数管理を行う。併せて人材確保については、将来を見据えて若い世代の獲得に向けて職員採用計画を策定し、これに基づいたリクルート活動を実施する。

【結果】

- ・年度途中の欠員補充の優先順位が高く、将来を見据えた若い世代の獲得に向けた採用行動に至らなかった。しかし、ほほえみ介護塾の受講者や職員紹介制度等により、アルバイト職員ではあるが、20代の職員採用を行うことができた。

② 定年延長や再雇用制度の見直しに向けた取り組みを段階的に推進する。

【結果】

- ・定年退職後の再雇用者に対する処遇改善を実施した。定年延長については、社会情勢や公社の財務状況を見据えながら引き続き検討していく。

③ 組織活性化プログラムの分析結果を踏まえた、働きやすい、働き甲斐のある職場環境づくりの取り組みを推進する。

【結果】

- 昨年度に実施した京都府の組織活性化プログラムについては、今年度はES委員会により、独自の職員アンケートとして、休暇取得に関するアンケートの実施に向けての準備を行った。
- 職員から提起されている職場内環境、上司の機能、キャリアパスと人材育成、ワークライフバランス、処遇、会社の方針、自己実現といった項目に対する課題については、各委員会活動等で議論を重ねてきたが、いずれも具体的な改善策を講じるまでに至っておらず、引き続き優先順位をつけながら具体的な解決策について取り組んでいく。
- 評価制度の早期導入に向けて、翌年度より目標管理制度を導入するための準備を行った。

④ 経験別、役職別の計画的な研修の実施と、対話を重視した職員間の双方向コミュニケーション環境の整備に引き続き取り組む。

【結果】

- 今年度は介護労働安定センターに委託をし、チーフ職をはじめ各係より次期リーダーを担う中堅職員を対象とした研修を実施した。

⑤ 職場におけるハラスメントの防止に関する規定に則り、ハラスメントのない組織運営を行う。

【結果】

- ES委員会の所管事項として公社の「ハラスメント防止規程」を策定すると共に、ハラスメントのない職場環境を目指し、ハラスメント対応マニュアルの策定、ハラスメント相談対応の研修を行った。

Ⅱ 理事会・評議員会等開催状況

(1) 理事会開催状況

第63回 理事会 [令和3年5月31日開催]

議案第1号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2020年度(令和2年度)事業報告書(案)」について
議案第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2020年度(令和2年度)決算報告書(案)」について
議案第3号	「定時評議員会(第22回評議員会)の招集及び提出議案」について
議案第4号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第5号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
議案第6号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第1号	「理事長等執務報告」について
報告第2号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員紹介制度(内規)(案)」の制定について
報告第3号	「新型コロナウイルスによる影響等の近況報告」について
報告第4号	「2020年度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第5号	「2021年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第64回 理事会 [令和3年6月23日開催]

議案第7号	「代表理事(理事長)及び副理事長並びに専務理事の選定」について
議案第8号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の<第5回中間まとめ>を受けた当面の経営方針(案)」について
報告第6号	「経営改革5ヵ年計画推進調整会議の第5回中間まとめ」について

第65回 理事会 [令和3年7月13日開催] (みなし理事会)

議案第9号	「第23回評議員会の開催」について
-------	-------------------

第66回 理事会 [令和3年7月28日開催]

議案第10号	「監事の選任」について
議案第11号	「借入金限度額の設定」について
議案第12号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021年度(令和3年度)収支補正予算書〈第1号〉(案)」について
報告第7号	「設計・施工管理の委託」について
報告第8号	「2021年度(令和3年度)第1四半期収支実績・決算見込み」について
報告第9号	「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について
報告第10号	「理事長等執務報告」について

第67回 理事会 [令和3年9月27日開催] (みなし理事会)

議案第13号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第14号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 支援員等の雇用に関する規程」の一部改正について
議案第15号	「短時間型通所サービス改修工事請負業務に係る契約方法」について

第68回 理事会 [令和3年12月2日開催]

議案第16号	「短時間型通所サービス開設に係る工事請負契約の締結」について
報告第11号	「理事長等執務報告」について
報告第12号	「仮称(一財)宇治市福祉サービス公社中期経営計画(案)の策定」について
報告第13号	「2021年度(令和3年度)上半期収支実績・決算見込み」について
報告第14号	「2021年度(令和3年度)冬季賞与・特別賞与の支給」について
報告第15号	「2021年度(令和3年度)上半期事故・苦情・サンクスレポート」について

第69回 理事会 [令和4年1月27日開催]

議案第17号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
報告第16号	「理事長等執務報告」について
報告第17号	「2021年度(令和3年度)第3四半期収支実績・決算見込み」について
報告第18号	「2022年度(令和4年度)組織・機構の一部見直し等」について
報告第19号	「新規事業の進捗状況」について
報告第20号	「2022年度(令和4年度)事業計画の概要」について
報告第21号	「新型コロナウイルス感染症の状況」について

第 70 回 理事会 [令和 4 年 3 月 11 日開催] (みなし理事会)

議案第 18 号	「第 24 回評議員会の開催」について
----------	---------------------

第 71 回 理事会 [令和 4 年 3 月 26 日開催]

議案第 19 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022 年度(令和 4 年度)事業計画書(案)」について
議案第 20 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022 年度(令和 4 年度)収支予算書(案)」について
議案第 21 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022 年度(令和 4 年度)管理職の人事異動」について
議案第 22 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局組織規則」の一部改正について
議案第 23 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務決裁規程」の一部改正について
議案第 24 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局長、事務局次長、企画監、所長及び課長の専任事務を定める要綱」の一部改正について
議案第 25 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
議案第 26 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
議案第 27 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
議案第 28 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 個人情報保護規程」の一部改正について
報告第 22 号	「理事長等執務報告」について
報告第 23 号	「第三者委員の選任」について
報告第 24 号	「2021 年度(令和 3 年度)決算見込み」について
報告第 25 号	「新型コロナウイルス感染症の状況」について

(2) 評議員会開催状況

第 22 回 定時評議員会 [令和 3 年 6 月 23 日開催]

議案第 1 号	「理事の選任」について
議案第 2 号	「監事の選任」について
議案第 3 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2020 年度(令和 2 年度)決算報告書(案)」について
議案第 4 号	「評議員の選任」について
報告第 1 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2020 年度(令和 2 年度)事業報告書」について
報告第 2 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
報告第 3 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
報告第 4 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第 5 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員紹介制度(内規)」の制定について
報告第 6 号	「理事長等執務報告」について
報告第 7 号	「新型コロナウイルスによる影響等の近況報告」について
報告第 8 号	「2020 年度 下半期事故・苦情・サンクスレポート」について
報告第 9 号	「2021 年度 夏季賞与、特別賞与の支給」について

第 23 回 評議員会 [令和 3 年 7 月 28 日開催]

議案第 5 号	「監事の選任」について
報告第 10 号	「代表理事(理事長)及び副理事長並びに専務理事の選定」について
報告第 11 号	「経営改革 5 カ年計画推進調整会議の〈第 5 回中間まとめ〉を受けた当面の経営方針」について
報告第 12 号	「設計・施工管理の委託」について
報告第 13 号	「借入金限度額の設定」について
報告第 14 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2021 年度(令和 3 年度)収支補正予算書〈第 1 号〉(案)」について
報告第 15 号	「2021 年度(令和 3 年度)第 1 四半期収支実績・決算見込み」について
報告第 16 号	「宇治市出資法人自己評価報告書の提出」について
報告第 17 号	「理事長等執務報告」について

第 24 回 評議員会 [令和 4 年 3 月 26 日開催]

報告第 18 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022 年度(令和 4 年度)事業計画書(案)」について
報告第 19 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022 年度(令和 4 年度)収支予算書(案)」について
報告第 20 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 2022 年度(令和 4 年度)管理職の人事異動」について
報告第 21 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局組織規則」の一部改正について
報告第 22 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務決裁規程」の一部改正について
報告第 23 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 事務局長、事務局次長、企画監、所長及び課長の専任事務を定める要綱」の一部改正について
報告第 24 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 職員給与規程」の一部改正について
報告第 25 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 契約職員規程」の一部改正について
報告第 26 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 パートタイマー等規程」の一部改正について
報告第 27 号	「一般財団法人宇治市福祉サービス公社 個人情報保護規程」の一部改正について
報告第 28 号	「理事長等執務報告」について
報告第 29 号	「第三者委員の選任」について
報告第 30 号	「2021 年度(令和 3 年度)決算見込み」について
報告第 31 号	「新型コロナウイルス感染症の状況」について

Ⅲ 役員・評議員等名簿

(1) 役員名簿（令和4年3月31日現在）

役職	氏名	備考
理事長	塚原 理俊	有識者
副理事長	奥西 隆三	宇治市社会福祉協議会会長
専務理事	栢木 利和	宇治市福祉サービス公社理事
理事	有賀やよい	医師
理事	笹部 和男	弁護士
理事	五艘 雅孝	有識者
理事	藤田 佳也	宇治市健康長寿部部長
理事	小松美恵子	元小学校校長
理事	平田 研一	認知症予防ネット理事長
監事	池田 正彦	宇治東福祉会専務理事
監事	小林 幸大	京都銀行宇治支店長

名誉理事長	岡本 民夫	前宇治市福祉サービス公社理事長
顧問	伊藤 義明	前宇治市福祉サービス公社副理事長

(2) 評議員名簿（令和4年3月31日現在）

役職	氏名	備考
評議員	岡野 英一	京都ボランティア協会理事
評議員	山崎 彰	宇治市連合喜老会副会長
評議員	神野 君夫	宇治久世医師会理事
評議員	関戸 安夫	宇治市民生児童委員協議会理事
評議員	波戸瀬 亮	宇治市健康長寿部副部長
評議員	小松 一子	元大学教員
評議員	菊池ゆかり	山城福祉会地域生活支援室室長

(3) 第三者委員名簿（令和4年3月31日現在）

役職	氏名	備考
委員	山北千代子	
委員	山花 啓伸	

※介護保険事業・障害者総合支援事業の利用者等に対する第三者的な相談・苦情窓口

公社独自事業

- ＜定款第 4 条(1)＞ 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業
- ＜定款第 4 条(2)＞ 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業
- ＜定款第 4 条(10)＞ 地域保健福祉に寄与する関係団体等に関する支援、助成事業

<定款第4条(1)> 在宅保健福祉サービスの調査研究、知識の普及啓発、相談等に関する事業

公社会員の状況

≪2021年(令和3年)度会員数≫ 賛助会員(法人会員24団体・個人会員78名)

情報誌の発行

公社情報誌「ぽっぽ」(各2,500部発行)を公社会員や利用者、関係機関等に配布し、知識・情報の普及啓発を行った。

◆実績

第48号(令和3年7月発行) 第49号(令和4年1月発行)

講師派遣

「ほほえみ介護塾」の講師を職員が担い、在宅保健福祉サービスについての知識の普及啓発を行った。

◆実績

派遣内容	派遣回数
介護塾講師	36回

情報の収集と提供

公社情報誌「ぽっぽ」、公社ホームページを活用して利用者・市民に向け、公社で実施する事業の情報提供を行った。

また、インターネット上における介護関係の情報収集に努め、各職員に周知を図るとともに、事業所ブログ(年間更新56回)やFacebookやTwitter、Instagram、LINE公式アカウントを活用して、公社の取り組みや最新情報の発信に努めた。



【公社公式LINE登録QRコード】

<定款第4条(2)> 自主的な在宅保健福祉サービスの提供に関する事業

介護保険外訪問介護サービス（自主サービス） 通称「ほほえみサポート」

介護保険法で対応できない家事支援等の利用者ニーズに対して、自主サービスとして実施した。
 ＊通院介助、一時的な掃除・整理整頓、絵画教室等への外出介助、産後ケア終了後の家事支援等

◆実績

（ほほえみサポート）

実人数	22名（介護・障害・産後）
派遣回数	412回
派遣時間	553時間 15分

（院内介助）

	東宇治	ぽっぽ	計
実人数	3名	9名	12名
派遣回数	11回	12回	23回
派遣時間	16時間 45分	19時間 05分	35時間 50分

福祉人材研修事業

1) ほほえみ介護塾

介護人材の確保が喫緊の課題となっている状況において、ほほえみ介護塾は自社での養成事業として重要な役割を持つ事業である。今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催日程を変更して開催したが、定員10名を超える14名の応募があり、内、9名が入職に繋がった。

◆実績

実施時期	6月21日～10月8日
受講者数	14名
修了者数	14名
入職者数	9名

2) 介護技術習得・介護予防ボランティア養成サービス

これまでは、介護予防事業を支援するサポーターの育成や既にサポーターとして活躍している方々の研修の場として、年間4回程度の研修会を企画してきたが、新型コロナウイルスの感染防止により、ボランティア活動が制限され、研修会も昨年度に続き、交流、意見交換を目的に状況把握や、運動の振り返りを行う内容で2回に分けて実施した。

◆実績

開催日	テーマ	参加者数
3月24日	今、一緒に始めましょう ストレッチ&筋トレ (東宇治地域福祉センター)	23名
3月29日	今、一緒に始めましょう ストレッチ&筋トレ (宇治市総合福祉会館)	26名

3) 公社サービス利用者等リハビリサポート

リハビリ専門職が公社内外のデイサービスやケアマネジャー等からの依頼を受けて、サービス利用者へ運動指導や福祉用具を含む住環境改善等のアドバイスを行った。

介護予防事業での連携を含む地域包括支援センターから8件、ケアマネジャーから3件、相談支援員から2件の相談があった。また、デイサービス内での個別指導を9件行った。

◆実績

	運動指導等リハビリ相談	福祉用具等住環境改善相談
実施回数	19回	3回

介護保険事業

- ＜定款第 4 条(3)＞ 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業
- ＜定款第 4 条(4)＞ 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービスに関する事業
- ＜定款第 4 条(5)＞ 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業
- ＜定款第 4 条(6)＞ 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

<定款第4条(3)> 居宅介護支援、介護予防支援に関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

居宅介護支援事業

要支援・要介護の方からの相談に応じて、利用者の希望や心身の状態等を考慮した、適切な在宅または施設のサービスが利用できるよう、各種サービス事業者との連携を図り、介護及び介護予防サービス計画の作成、サービス提供の確保を行った。

◆実績

	西小倉	東宇治	広野	中宇治	計
介護支援専門員数	5名	4名	5名	4名	18名
延給付管理件数	2,255件	1,697件	1,783件	1,952件	7,687件
事業対象者	0	0	16	0	16
要支援1	114	167	165	236	682
要支援2	187	106	292	247	832
要介護1	930	701	557	838	3,026
要介護2	469	361	364	306	1,500
要介護3	308	212	169	180	869
要介護4	139	92	131	145	507
要介護5	108	58	89	0	255
一人当たり給付管理/月	35.1件	32.5件	25.8件	35.6件	32.0件

※一人当たり給付管理は、予防給付等（事業対象者・要支援1・2）については1/2件でカウント

<定款第4条(4)> 訪問介護、訪問介護相当サービス、生活支援型訪問サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

要支援・要介護の方に対して、ホームヘルパーを派遣し、自立した日常生活を営むことができるよう、排泄・食事・入浴等の身体介護や、掃除・調理等の生活援助を行った。

◆実績

			東宇治	ぼっぼ	計
＊ 介 護 給 付	身 体 介 護	延利用人数	503名	534名	1,037名
		延派遣回数	4,492回	8,555回	13,047回
	身 体・生 活	延利用人数	255名	264名	519名
		延派遣回数	2,369回	2,303回	4,672回
	生 活 援 助	延利用人数	616名	1,295名	1,911名
		延派遣回数	3,334回	9,201回	12,535回
＊ 予 防 給 付	予 防 介 護 Ⅰ (週1回程度の訪問)	延利用人数	537名	436名	973名
		延派遣回数	2,030回	1,626回	3,656回
	予 防 介 護 Ⅱ (週2回程度の訪問)	延利用人数	57名	104名	161名
		延派遣回数	464回	868回	1,332回
	予 防 介 護 Ⅲ (週2回程度を超える訪問)	延利用人数	0名	3名	3名
		延派遣回数	0回	25回	25回
総合 事業	生活支援型訪問サービス (週1回程度の家事)	延利用人数	47名	86名	133名
		延派遣回数	164回	292回	456回
計		延利用人数	2,015名	2,722名	4,737名
		延派遣回数	12,853回	22,870回	35,723回

※介護給付は要介護1～5の方、予防給付は要支援1～2の方、総合事業は事業対象者・要支援の方を対象

<定款第4条(5)> 通所介護、通所介護相当サービスに関する事業

<定款第4条(6)> 介護予防・日常生活支援総合事業に関する事業

通所介護事業（デイサービス）

要支援・要介護状態の方に対して、通所（送迎）による入浴、食事等の各種サービス、及びそれぞれのニーズに応じた介護、機能訓練等を提供し、利用者個々に満足してもらえるサービスの提供を行った。

◆実績

施設区分	西小倉		東宇治	広野	計
	通常型	認知症型	通常型	通常型	
定員	25名	10名	25名	23名	83名
運営日数	351日	300日	361日	361日	
延利用人員	7,999名	2,132名	6,274名	6,375名	22,780名
事業対象者	0	0	3	0	3
要支援1	17	0	92	236	345
要支援2	741	0	703	532	1,976
要介護1	3,505	654	2,053	2,533	8,745
要介護2	1,960	576	2,140	741	5,417
要介護3	835	345	899	1,226	3,305
要介護4	691	328	155	679	1,853
要介護5	250	229	229	428	1,136
1日平均人数	22.8名	7.1名	17.4名	17.7名	

※西小倉事業所（通常規模型・認知症対応型）については、センター内において職員や利用者に感染が拡大したことにより、令和4年2月5日から14日までの10日間、事業運営を臨時休業とした。

障害者総合支援事業

<定款第 4 条(7)> 障害者福祉サービスに関する事業

<定款第 4 条(8)> 障害児福祉サービスに関する事業

<定款第4条(7)・(8)> 障害者・障害児福祉サービスに関する事業

居宅介護事業（ホームヘルプサービス）

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、可能な限りその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう支援した。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計
実利用者数	33名	54名	87名
派遣回数	3,408回	7,419回	10,827回
派遣時間	4,342時間45分	6,306時間	1,0648時間45分

移動支援

障害者総合支援法に基づき、対象の方に対してホームヘルパーを派遣し、外出のための移動支援を行った。

◆実績

	東宇治	ぼっぼ	計
実利用者数	3名	8名	11名
派遣回数	509回	78回	587回
派遣時間	252時間30分	81時間30分	334時間

障害者相談支援センター

在宅サービスを利用する障害児・者に対してサービス等利用計画が必須となっていることから、これに対応するために2名の相談支援専門員を配置して相談支援に当たった。

◆実績

	サービス利用計画作成
総件数	658件
実人数	62名

宇治市受託事業

<定款第 4 条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業

<定款第4条(9)> 在宅保健福祉サービスに関する受託事業

訪問型事業

1) 訪問指導事業（健康増進法に基づく事業）

40歳以上65歳未満の心身機能が低下している方を対象に、自宅に訪問し、運動指導や日常生活動作指導を行う事業であり、介護保険や障害者総合支援法等で当該事業に相当するサービスを利用できる方は除外され、市の担当者が必要と判断された方が対象となる。

前年度に続き、実績がない状況であった。引き続き、市との協議が必要である。

2) 訪問型短期集中予防サービス

短期集中予防サービスの訪問型の内、主に運動面に係る支援について委託を受け、地域包括支援センター等のケアマネジャーが作成するプランに基づき、1対象者当たり3ヵ月間で最大6回の支援を行う。リハビリ専門職の視点から、生活課題に対する評価や改善プログラムを計画し取り組みを支援した。

また、通所型サービス利用者は、訪問型を最大2回まで利用し、自宅での状況把握や指導を行うことで、生活課題の改善に向けた支援に繋がった。新型コロナウイルスによる中止期間に、一部訪問での対応を行った。

◆実績	延べ	124件	(実人数	42名)
	内)	通所型併用	86件	(実人数 35名)
		訪問型	38件	(実人員 7名)

通所型介護予防事業

1) 健康倶楽部

65歳以上の市民を対象に、市が市政だよりで募集し抽選で決定した対象者に対して、運動器向上プログラムを中心とした一般介護予防事業「健康倶楽部」を行った。

自分の体重を活用した運動を主とする「スロートレーニング教室」、機器を使ったトレーニングで身体の動きやすさを改善する「パワリハトレニング教室」、複合型のプログラムを有した「スロートレーニング教室（ミックス）」の3種類の教室を広野地域福祉センター等の各会場にて実施し、東宇治地域福祉センターについては、後期は工事に伴い会場を変更して行った。

今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、一部事業の中止や変更が発生した。

◆スロートレーニング教室

(実施回数) 132回

(実人数) 140名

(延参加者数) 1,769名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
東宇治A/三室戸北	33回	27名	338名	10.2名
東宇治B/槇島下	33回	35名	444名	13.5名
西小倉	33回	38名	451名	13.7名
広野	33回	40名	536名	16.2名
計	132回	140名	1,769名	13.4名

◆パワリハトレーニング教室

(実施回数) 197回

(実人数) 148名

(延参加者数) 1,956名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
A広野	66回	49名	643名	9.7名
B黄檗	65回	48名	652名	10.0名
C広野	66回	51名	661名	10.0名
計	197回	148名	1,956名	9.9名

◆スロートレーニング教室（ミックス）

(実施回数) 63回

(実人数) 66名

(延参加者数) 690名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
あいらの杜→東宇治	30回	29名	239名	8.0名
広野/西小倉	33回	37名	451名	13.7名
計	63回	66名	690名	11.0名

2) 通所型短期集中予防サービス

短期間で集中的に心身機能の向上に取り組み、生活課題を改善し日常生活への定着を目標とするサービスとして、栄養・口腔ケアの内容を含む複合型のコースを2会場それぞれ週1回ずつ実施し、参加者は随時受け入れ、一人につき10回を1クールとし、年間各会場40回の予定で開催した。

地域包括支援センター等のケアマネジャーによるプランに基づいて実施し、通所前後を含む期間中の最大2回までの訪問型サービスを併用し、自宅での評価や指導を行った。

今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、一部事業が中止となり、訪問で指導するなどの対応を行った。

◆通所型短期集中予防サービス

(実施回数) 61回

(実人数) 41名

(延参加者数) 186名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
黄檗体育館	32回	22名	107名	3.3名
広野	29回	19名	79名	2.7名
計	61回	41名	186名	3.0名

3) セルフパワリハ

65歳以上の利用希望者で、宇治市健康生きがい課で受け付け登録された方が、実施日に広野地域福祉センターへ来所してトレーニングを行う事業であり、基本的に利用者の自己管理・自主トレーニングであるが、機器操作や運動方法、安全管理等を専門職員が指導した。

今年度も新型コロナウイルスの影響を受け、一部日程に変更を行い、抽選による時間入れ替え制で人数を16名までとし、各自での準備体操と機器トレーニングのみを行った。

◆実績

会場	実施回数	登録者数	延参加者数
広野	90回	19名	1,767名

4) 認知症予防教室

介護予防事業として、65歳以上で認知機能の活性化に関心のある方に対して、市内の介護予防拠点施設を中心に「あたまイキキ教室」を開催し、教室に継続的(週1回22回)に参加する中で、他者との交流を深めながら、脳活性化訓練等を積極的に行い、生活の活性化を図ることを目的として実施した。

前年度に参加していない方に対して優先的に参加していただき、開催時期や会場の広さ等を考慮して、会場ごとに安全に実施できる人数を設定して受け付けた。

新型コロナウイルスの影響を受け、一部事業の中止や変更が発生した。

◆実績

(実施回数) 136回
 (実人数) 132名
 (延参加者数) 1,871名

会場	実施回数	実人数	延参加者数	平均参加者数 (小数点第2位を四捨五入)
うじ安心館	13回	18名	191名	14.7名
東宇治コミュニティセンター	12回	17名	147名	12.3名
ハーモニーやまはた	11回	13名	115名	10.5名
西小倉地域福祉センター	12回	18名	147名	12.3名
あいらの杜→福角集会所	22回	18名	342名	15.5名
リハビリおおくぼ→南宇治コミュニティセンター	22回	20名	412名	18.7名
小倉デイホーム	22回	17名	297名	13.5名
榎島地域福祉センター	22回	11名	220名	10.0名
計	136回	132名	1,871名	13.8名

5) 地域リハビリテーション活動支援事業（地域 de げんき講座）

地域で介護予防に取り組むグループの活動や自主グループの立ち上げを支援する目的で、リハビリテーションの専門職等が地域の活動へ出向き、グループの要望に応じた講話や体験を提供し、介護予防の啓発や身近な地域での健康維持・増進に役立てていただく事業を行った。

市政だよりとチラシの配布等で募集し、電話で受け付けた。半数が65歳以上で構成される10名以上の登録があるグループを対象に、運動や脳活性化等の内容を提供し、実施状況の振り返りや依頼団体の把握のためのアンケートも実施した。

◆実績

(実施回数) 54回
 (延参加者数) 714名

地域包括支援センター運営事業

市からの受託事業として、市内3カ所（西宇治、東宇治南、中宇治）を拠点に、地域包括支援センターの運営事業を行った。

1) 介護予防支援事業（事業対象者・要支援1・2の方の給付管理）

◆実績

		西宇治	東宇治南	中宇治	計
予防給付年間給付管理件数	直接	1,931	1,870	1,505	5,306
	委託	1,457	1,228	1,476	4,161
	合計	3,388	3,098	2,981	9,467
新規件数(初回加算)		90	102	81	273

2) 総合相談・権利擁護・包括的支援事業

◆実績

相談対応の内容等	西宇治	東宇治南	中宇治	計
新規相談者数	501名	495名	405名	1,401名
（再掲）独居・高齢者世帯	248	320	230	798
（再掲）認知症・精神疾患	88	165	91	344
相談延べ件数	2,375	2,380	1,912	6,667
高齢者虐待に関すること(延べ)	123	168	126	417
ケアマネ支援(実人数)	10名	19名	25名	54名

3) 小地域包括ケア会議開催

◆開催状況一覧

包括名	開催日	参加者数	テーマ
西宇治	令和3年7月2日	19名	難病、精神疾患、若年性認知症など多くの疾患を抱えた女性の生活を支える
	令和3年8月5日	11名	「認知症のある一人暮らしの女性」～その人の強みを生かす支援の在り方～
東宇治南	令和3年4月5日	13名	80代父と40代長女(精神疾患治療中断)の生活
	令和3年11月1日	14名	暴言・暴力により支援継続に危機感を感じているケース
	令和3年11月22日	12名	長年支援を拒み続けてきたが認知機能の変化に支援が必要になってきた独居女性
中宇治	令和3年12月14日	17名	高齢者・障がい者の変化に気づき、話し合える地域を目指して

4) 脳活性化事業

地域において認知症の正しい理解を広げ、自主的に介護予防に取り組んでいただくために、認知症についての情報提供や、体操、レクリエーション等を行う教室を包括圏域ごとに実施した。

「レッツにしよう」(西宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	西小倉地域福祉センター	5	77
	西小倉地域福祉センター	4	63
後期	西小倉地域福祉センター	5	84
	西小倉地域福祉センター	5	64
合計		19	288

「あつまれ元気の森」(東宇治南圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	東宇治地域福祉センター	4	65
	東宇治地域福祉センター	3	44
後期	東宇治コミュニティーセンター	6	95
	東宇治コミュニティーセンター	6	97
合計		19	301

「おいでやす脳活道場」(中宇治圏域)

	会場	回数	参加人数
前期	うじ安心館	4	68
	広野地域福祉センター	4	63
後期	うじ安心館	6	98
	広野地域福祉センター	6	76
合計		20	305

5) 初期認知症総合相談支援事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名（社会福祉士）と補助職員1名（看護師）を配置し、医療、福祉等とのネットワークを形成し、認知症の人や家族に対し、状況に応じた適切な支援を行うことと、初期認知症の特性に配慮して切れ目のない支援を提供するために、状況に応じた適切な医療、介護等との連携を図るとともに、必要となる社会資源等を構築することを目的に実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、感染対策を講じながら事業の継続に取り組んだ。

① 認知症対応型カフェの企画・管理

宇治市全域のれもんカフェを12回、管轄圏域のカフェを12回、計24回（市全体では年36回）のれもんカフェを開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響で全域の4月分、5月分、中宇治圏域の4月分、東宇治北圏域の5月分の計4回が延期となった。

昨年に引き続き、コロナ状況に応じて、宇治市のタブレット貸与事業、オンラインを併用したれもんカフェの開催に取り組んだ。

圏域名	開催場所	回数	参加者数
全域	宇治市総合福祉会館・宇治市植物公園・京都文教大学	12	264
東宇治北圏域	カフェクラリネ・木幡地域福祉センター	3	43
東宇治南圏域	宝善院・東宇治地域福祉センター・みんなのカフェぐりぐり	3	48
南部・三室戸圏域	ピストロ de ナカガワ・福角集会所	3	21
中宇治圏域	宇治教会・Café 紀翔・広野地域福祉センター	3	51
合計	13ヶ所	24	427

※北宇治地域包括支援センターが管轄する、槇島、北宇治、西宇治、南宇治圏域は除く。

※参加者数にスタッフ、講師、演者は含めない。

② 認知症初期集中支援チーム事業の実施及び事例検討会の開催

認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わるための「認知症初期集中支援チーム」を配置し、早期診断・早期対応に向けた支援体制を構築することを目的に実施した。

中宇治チームは市内4圏域を対象として、圏域の包括等との連携により実施し、24ケース【市全体としては40件】の訪問調査と介護サービス導入や、医療受診等必要な支援を行った。

◆チーム員会議

チーム員会議場所	会議開催数(回)	会議実施ケース(件)	年度内終了件数(件)	継続中
洛南病院	24	13	10	3
宇治おうばく病院	12	5	3	2
京都認知症総合センター	12	5	3	2
未実施	-	-	0	1
合計	48	23	16	8

※未実施は、会議を実施せず、来年度持ち越しとなったケース 1 件
 ※会議未実施ケースを含む、未終了ケース 8 件については来年度以降も継続して対応する。

◆担当圏域との調整会議（事例検討会）

宇治市、地域包括支援センターと一緒に、初期集中支援チームのケースについて事例や傾向を共有し、意見交換をした。また、残りの時間で、れもんカフェについても情報共有した。

回数	日時	内容	参加人数
1	8月4日(水) 14:00~16:00 宇治市役所 5階 501	認知症初期集中支援チーム事例検討会 れもんカフェの意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・包括 11名 ・市 3名 ・北宇治 1名 ・中宇治 3名
2	3月8日(火) 14:00~16:00 うじ安心館 3階ホール	認知症初期集中支援チーム事例検討会 れもんカフェの意見交換会	<ul style="list-style-type: none"> ・包括 13名 ・市 2名 ・北宇治 2名 ・中宇治 3名

③ 認知症を正しく理解するための連続講座の開催

市民や市内の介護保険事業者、医療関係者に対して啓発事業の一環として、京都府立洛南病院の森俊夫先生等を講師に、認知症を正しく理解いただくための連続講座を開催した。

全4回全ての講座を受講された方に宇治市長名で修了証を発行するとともに、希望者には宇治市の認知症事業のボランティアである「れもねいだー」に登録をいただいた。

また、れもねいだーを対象とした講座も別途開催した。

◆【認知症を正しく理解するための連続講座】 受講者数:35名 新規れもねいだー登録者数:11名
 [れもねいだー登録状況] 登録者数:105名

回	開催日	内容	講師
1	10月2日(土)	認知症の医療とケア①	府立洛南病院 森俊夫先生
2	11月6日(土)	認知症の医療とケア②	府立洛南病院 森俊夫先生
3	12月4日(土)	認知症あんしんサポーター養成講座	認知症コーディネーター 児玉裕香
4	1月15日(土)	宇治市の認知症施策のあゆみと展望	宇治市福祉サービス公社 川北雄一郎

◆【れもねいだー講座】 受講者数:24名(現:11名・新:13名)

開催日	内容
2月5日(土) 10:00~12:00	1) れもねいだー活動紹介 2) れもねいだー活動報告 3) グループワーク「れもねいどメッセージ 2021」について ~私が思う一番大切だと思うこと、これからの希望~

④ 認知症あんしんサポーター養成講座の開催及びキャラバン・メイト事務局運営

◆認知症あんしんサポーター養成講座

開催回数	受講者数
30回	1,004名

◆宇治市キャラバン・メイト事務局

事務局として、キャラバン・メイトのボランティア加入手続き、及び年2回の新聞発行、年2回のフォローアップ研修を実施した。

場所：第1回 宇治市福祉サービス公社中宇治事業所 3階大会議室

第2回 生涯学習センター 第2ホール

参加実人数：14名 参加延べ人数：16名

回数	日時	内容	講師	受講者
1	8月18日(水) 10:00~11:30	実践報告 意見交換会	事務局	10名
2	2月24日(木) 10:00~11:30	実践報告 意見交換会	事務局	6名

⑤ 宇治市認知症家族支援プログラムの開催及び鈴の音会

◆宇治市認知症家族支援プログラム

開催回数：6回 参加実人数：6名 参加延べ人数：18名

会場：宇治市福祉サービス公社中宇治事業所 2階介護実習室

回数	開催日時	内容・講師等	参加者
第1回	9月10日(金) 13:00~16:00	「つくろうネットワーク」※緊急事態宣言のため郵送実施 認知症の人と家族の会京都府支部	郵送
第2回	10月6日(水) 13:00~16:00	認知症の基本的な知識「学びましょう、認知症のこと」 宇治おうばく病院 樋川毅医師	5名
第3回	11月12日(金) 13:00~16:00	サービスのいろいろ「上手に使おうサービス利用」 南宇治地域包括支援センター職員	4名
第4回	12月10日(金) 13:00~16:00	介護の仕方と介護者の心「見つめてみましょう、あなたの心」 認知症の人と家族の会京都府支部	4名
第5回	1月7日(金) 13:00~16:00	「認知症の人との関わり方」 グループホーム事業所等職員(グループホームおりーぶ)	3名
第6回	2月9日(水) 13:00~16:00	医師との関わり方、薬について「医師と上手に付き合おう」 村山医院 村山祐一郎医師	2名

◆鈴の音会

毎月第3金曜日に年12回(内10回は交流会、2回は研修会)開催を予定していたが、5月、6月、8月、9月は新型コロナウイルスの影響で中止とし、郵送で近況を尋ねて通信を作成、配布した。

- **交流会** 毎月第3金曜日の午後(13:00~15:30)開催(全8回)
参加実人数:14名 参加延べ人数:32名
場所:宇治市福祉サービス公社中宇治事業所 2階介護実習室
- **研修会** 開催回数:2回 実人数:9名 参加延べ人数:11名
場所:第1回 宇治市福祉サービス公社 中宇治事業所 2階介護実習室
第2回 宇治市福祉サービス公社 中宇治事業所 2階介護実習室

回数	日時	内容	講師	受講者
1	11月19日(金) 13:00~15:30	~改めて「デイサービスってどんなところ?」~	事務局	7名
2	3月18日(金) 13:00~15:30	『認知症と生きるための選択を一緒に考えませんか』 ~その時あなたはどうか?サービスを利用する?しない?~	事務局	4名

⑥ 認知症カフェ運営者・スタッフ研修

平成30年3月に市内に開設された京都認知症総合センターの機能強化事業として、京都府下で認知症カフェを運営している団体の運営者・スタッフを対象とした研修会を企画・実施した。今年度は新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン研修とした。

開催日	テーマ(内容)	講師	参加者数
11月18日(木)	「認知症の人とのかかわり」	武地 一氏 (藤田医科 大学教授)	40名
12月16日(木)	「認知症の人の家族とのかかわり」		35名
1月20日(木)	「認知症の人と家族双方へのかかわり」		31名
2月17日(木)	「認知症についての一般的知識やカフェスタッフとしての振る舞いについて」		31名
3月17日(木)	「地域に居心地のよい場所を作る力」		31名

6) 認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業

認知症になっても住み慣れた地域で生活が継続できるよう、専任の認知症コーディネーター2名(社会福祉士)と補助職員2名(社会福祉士・看護師)を配置し、市が掲げる「認知症の人にやさしいまち・うじ」の実現に向けて事業を実施した。認知症の本人・家族の声をもとに、ボランティア(れもねいだー)や企業(れもねいど加盟企業・団体)との共働により、事業に取り組んだ。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたが、感染対策を講じながら事業を継続した。

① 第8回認知症フォーラム in 宇治の開催

- 【テーマ】 「認知症の人の声を聴く~二つの入口問題を考える~」
- 【開催日】 令和4年3月21日(祝)
- 【場所】 宇治市生涯学習センター
- 【参加者】 160名

【内 容】

1. 市長挨拶 松村淳子宇治市長
2. れもねいど 2021 活動報告
3. 基調講演「認知症の人の声を聴く」
講師 繁田雅弘氏（東京慈恵会医科大学教授 一般社団法人日本認知症ケア学会理事長）
4. シンポジウム「認知症という旅の2つの入口問題を考える」
コーディネーター 森俊夫氏（京都府立洛南病院非常勤医師）
シンポジスト 榊村雅文氏（京都認知症総合センター）
丸山真由美氏（株式会社くりくま 代表取締役）
コメンテーター 平尾和之氏（京都文教大学教授）
繁田雅弘氏
藤田佳也氏（宇治市健康長寿部部長）
5. れもねいどメッセージ 2022 発表

② 宇治市認知症アクションアライアンス “れもねいど” 推進協議会の開催

宇治市認知症アクションアライアンスれもねいどの事務局として、当事者、関係団体代表者等で構成された推進協議会を年 4 回開催した。

回	日時	内容
第 1 回	6 月 28 日(月) 15:00~16:30	しごとれもん「お茶摘み編」の実施報告 今年度のれもねいど事業について他
第 2 回	9 月 27 日(月) 15:00~16:30	しごとれもん「万願寺とうがらし編」の実施報告 各ワーキングチームの取り組みについて他
第 3 回	12 月 20 日(月) 15:00~16:30	しごとれもん「こかぶ編」の実施報告 各ワーキングチームの取り組みについて他
第 4 回	3 月 28 日(月) 15:00~16:30	第 8 回認知症フォーラムの報告 来年度のれもねいど事業について他

③ 京都文教大学グループミーティング

京都文教大学で当事者グループミーティングについては、新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインと対面で全 6 回開催され参加した。また、12 月に開催された「ともいきフェスティバル」にも参加した。

④ れもねいだー交流会及びれもねいど通信の発行

◆れもねいだー交流会

れもねいだーの交流と資質向上のため、年4回の交流会を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症のため、1回のみで開催とした。

回数	日程	場所	内容/参加者
1	10月21日(木) 10:00~11:30	宇治市福祉サービス公社 中宇治事業所	今年度の取り組みについて共有 他 [れもねいだー12名 スタッフ4名]

◆れもねいど通信

「認知症の人にやさしいまち・うじ推進事業」を中心に宇治市の認知症事業について広報するため、隔月で年6回通信を発行した。通信についてはホームページやFacebook、LINEなどで発信した。

⑤ しごとれもん

【認知症当事者の方の就労を目的として、れもねいど加盟登録団体とともに取り組んでいる活動】

◆茶摘み

開催日時	開催場所	参加人数	収穫量
5月7日(金) 午前	青山製茶	9名 [本人2・家族2・れもねいだー5]	7.52 kg
5月8日(土) 午前	青山製茶	10名 [本人4・家族5・れもねいだー1]	14.70 kg
5月11日(火) 午前	久保田茶園	7名 [本人1・家族2・れもねいだー4]	7.92 kg
5月12日(水) 午前	久保田茶園	9名 [本人3・家族3・れもねいだー3]	8.46 kg

7年目の取り組みとして実施。認知症の本人7名、家族9名、れもねいだー10名の計26名が参加した。4日間で38.6kg摘み取り、茶園からは1kg400円で買い取っていただき、認知症の本人に賃金として支払いした。

◆万願寺とうがらし

開催日時	開催場所	参加人数	収穫・販売量
7月29日(木) 午前	いのうち農園	29名 [本人9・家族10・れもねいだー10]	150.9 kg

5年目の取り組みとして実施。認知症の本人9名、家族10名、れもねいだー10名の計29名が参加した。150.9kgの万願寺とうがらしを収穫し、れもねいど加盟登録企業・団体へ販売、得た収入の一部を参加した認知症の本人に賃金として支払いした。

◆こかぶ

開催日時	開催場所	参加人数	収穫・販売量
11月9日(火) 午前	いのうち農園	25名 [本人11・家族7・れもねいだー7]	640個
11月10日(水) 午前	いのうち農園	13名 [本人3・家族3・れもねいだー7]	225個

4年目の取り組みとして実施。認知症本人14名、家族10名、れもねいだー12名の36名が参加した。2日間で計865個のこかぶを収穫し、れもねいど加盟登録企業団体へ販売、得た収入の一部を参加した認知症当事者に賃金として支払いした。

⑥ ミーティングセンター

[老人保健健康増進等事業 認知症の当事者と家族を一体的に支援する支援プログラムのあり方に関する調査研究事業] (モデル事業)

昨年度に引き続き、国のモデル事業に協力する形で、認知症の本人・家族を中心とするプログラムを実施した。内容は、本人と家族の意向を踏まえて決定した。事業の開始前と最終回には、それぞれ国の聞き取り調査に協力した。モデル事業としては全6回(8月～1月)であったが、参加者からの希望もあり、月に1回(第2土曜日の午前中)、「認知症のひとにやさしいまち・うじ推進事業」の一部として、事業を継続した。

開催日時	開催場所	開催内容	参加者数
4月10日(土)	太陽が丘運動公園	青空テニス教室	11名(本人5・家族6)
5月8日(土)	青山製茶	お茶摘み	9名(本人4・家族5)
6月12日(土)	三室戸寺	三室戸寺拝観	12名(本人5・家族7)
7月10日(土)	いのうち農園	とうもろこしの収穫祭	11名(本人5・家族6)
8月14日(土)	オンライン(zoom)	交流・ゲーム	11名(本人5・家族6)
9月11日(土)	オンライン(zoom)	交流・ゲーム	13名(本人6・家族7)
10月9日(土)	宇治市総合福祉会館	ヨガ体験	14名(本人6・家族8)
11月13日(土)	太陽が丘運動公園	青空テニス教室	12名(本人5・家族7)
12月11日(土)	京都文教大学	みんなのコンサート&交流タイム	18名(本人8・家族10)
1月8日(土)	宇治市植物公園	ワークショップ体験	17名(本人8・家族9)
2月12日(土)	宇治市総合福祉会館	交流	12名(本人5・家族7)
3月12日(土)	福祉サービス公社	ミーティング(来年度&植樹準備)	12名(本人5・家族7)

宇治市地域福祉センター指定管理事業

指定管理者として、西小倉地域福祉センター、東宇治地域福祉センター、広野地域福祉センターの施設・設備にかかる管理運営を行った。（※新型コロナウイルス感染拡大防止により一部閉館）
（※東宇治事業所は空調設備改修工事のため10月から1月末まで閉館）

1) テイルーム等の利用状況

◆実績

	西小倉		東宇治		広野		計	
	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)	利用者数	(内入浴)
男性	526	0	1	0	192	0	719名	0
女性	262	0	97	0	909	0	1,268名	0
計	788名	0名	98名	0名	1,101名	0名	1,987名	0名

※西小倉事業所のテイルームについては、毎週月・木の午前中に、住民主体型通いサービスを実施中。

2) 施設の利用状況

◆実績

利用区分 ※（ ）は広野での呼称	西小倉		東宇治		広野		計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
ボランティアルーム	207	2,112	/	/	/	/	207	2,112
地域交流室(会議室)	265	6,222	159	3,691	383	5,743	807	15,656
研修室(介護者教育室)	264	6,218	159	3,691	383	5,826	806	15,735
料理教室	127	2,065	30	994	8	45	165	3,104
計	863 件	16,617 名	348 件	8,376 名	774 件	11,614 名	1,985 件	36,607 名

3) コミュニティカフェ及び地域福祉のつどい開催

今年度は新型コロナウイルス感染症感染対策の観点から地域住民向けの事業を中止とした。

生活支援コーディネーター業務

(1) 多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働に関する業務

○ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（第1層）への出席

8月6日（金）・3月16日（水）に開催され、全ての会議に出席してグループワークでのファシリテーター及び当社が実施した事業について報告した。

○ 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）への取り組み（2層業務）

圏域単位の地域課題等を抽出し、整理、課題解決の取り組みである宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議（地域版）については、地域包括支援センターと連携して、地域の関係者との関係づくりを進めた。

【中宇治圏域】

団体名・地区	内 容
琵琶台 G&B	<p>令和3年1月～準備会、令和3年9月設立 構成：自治会、学区福祉委員、民生委員、喜老会 経緯：坂の多い地域、高齢化率40%を超え、孤独死等をきっかけに結束 目的：①琵琶台地区の高齢者が安心して暮らせる地域環境づくり ②一人暮らし高齢者や高齢世帯の日常生活の見守りや災害時の支援体制を構築する。 生活支援コーディネーターとの役割：事務局と協議し、参加者への促しや課題整理、課題の明確化をする。</p>

【西宇治圏域】

団体名・地区	内 容
伊勢田ふれあいプロジェクト	<p>構成：小学校、PTA、子ども会連絡協議会、防犯推進委員会、安全管理委員会、青少年健全育成協議会、民生児童委員協議会、喜老会、サロン 経緯：福祉委員会研修部会から各種団体がこのコロナ禍で行事ができないことや各種団体との横のつながりがないことから協働して取り組めることがないか提案した。 目的：各種団体を通して子どもたちの見守りや登下校の立ち合い等高齢者の新たな役割のために、各種団体との協働実践を行う。 生活支援コーディネーターの役割：プロジェクトの進行管理</p>
ちょっと出ていこうよ！ふれあいプロジェクト～西小倉地域～	<p>構成：おぐらばんごはんの会（ローソン小倉堀池店オーナー） 西小倉地区社会福祉協議会・社会福祉協議会・協働パートナー 経緯：高齢者や子どもたちのコミュニティをつくり、地域で集える場を協働でつくりだそうとするプロジェクト 目的：子どもから高齢者まで集うイベントを企画し、地域福祉課題の整理を行う。第一弾としては3月13日（日）西浦東町内会「安心・安全」INフェス参加実施した。 生活支援コーディネーターの役割：プロジェクト課題整理、自治会等への提案</p>

(2) 生活支援サービス等の担い手となるボランティアの養成等に関する業務(第1層)

○ 宇治市源輝人講座の実施(宇治市健康長寿サポーター養成講座入門編)

地域のボランティア活動等の担い手として、地域住民の暮らしを支えることや新たに地域での活動に参加いただくことを目的に、より幅広い市民に受講いただくため名称、内容を一部変更して開催した。

内 容	講 師	第1回	第2回
「超高齢社会を元気に生きるヒント～アクティブなシニアライフを共に考えてみませんか?～」	宇治市福祉サービス公社 川北 雄一郎	7月6日	12月10日
「楽しくボランティア活動をするために」	元龍谷大学教授 岡野 英一氏 華頂短期大学准教授 名賀 亨氏	7月9日	12月14日
「わがまちの地域活動を学ぼう～わたし、こんな活動でいきがいを見つけました!～」	木場 キヨ子氏 (宇治市健康長寿サポーター) 堀井 勝英氏 (宇治市健康長寿サポーター)	7月13日	12月17日
受講者数		19名	15名
サポーター登録		12名	14名

○ 宇治市健康長寿サポーターステップアップ講座(実践編)の実施

宇治市源輝人講座を受講し、健康長寿サポーターとして登録された方、既に健康長寿サポーターとして活動される方を対象に、住民主体通所型サービスや通いの場、あるいは訪問型サービスや助け合い活動等を立ち上げていくための必要なスキルを学ぶことを目的に実践編の講座を開催した。

内 容	講 師	第1回	第2回
第1回「健康長寿の秘訣、外出の支援!」「高齢者の運転の心得」「危険予測で事故防ぐ」「運転体験」 第2回「健康長寿の秘訣、外出の支援!」「宇治市の地域活動の取り組みについて」「消費生活出前講座」	生活支援コーディネーター 大槻 剛 他1名 宇治警察署員、宇治市社会福祉協議会 米田 守氏 消費生活センター職員	11月10日	1月6日
第1回「宇治市の地域活動の取り組みについて」他 第2回「認知症サポーター養成講座」	宇治市社会福祉協議会 米田 守氏 認知症コーディネーター 菅井 佳奈(公社職員)	11月11日	1月12日
第1回 地域散策「宇治のお宝探し」 第2回 視察「南丹市の通いの場と移動支援の実践」	ローソン小倉堀池店 山田 純子氏 若葉台助け合い委員会 初田 隆史氏	11月17日	1月17日

第1回 地域散策「ふりかえり」	宇治中消防署員	11月19日	1月21日
第2回 救命講習会・全体振り返り			
第1回 「やりたい活動をみつけよう」	通所型サービス 6団体 訪問型団体 2団体	12月3日	
受講者数		7名	13名

○「第6回宇治市健康長寿フェス2022」の開催

開催日：令和4年2月26日（土）10時～13時
場 所：宇治市生涯学習センター 第一ホール
内 容： テーマ：つながりを広げよう～新しい生活様式の中での新たな出会いと地域づくり～ 参加者：123名（市民80名 スタッフ・関係者 43名） スタッフとして12名の健康長寿サポーターの協力を得る ・挨拶 宇治市長 松村 淳子 ・オープニング 「皆でやろう！！地域に広がるラジオ体操」 ・ラジオ体操実施者 折尾 久美子氏 ・基調講演「人とつながりつづけることが健康長寿の秘訣～各地の取り組み～」 地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究部長 藤原 佳典氏 ・活動発表と意見交換会 テーマ「地域で話し合う～つながり、広がる地域を目指して～」 琵琶台 G&B 矢野 友次郎氏 北槇島地区グリーントウン槇島 ODEN 中村 隆子氏 コーディネーター 宇治市健康長寿部 部長 藤田 佳也 コメント 宇治市長 松村 淳子 ・閉会の挨拶 宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議 座長 初田 隆史氏
パネル展示 ・活動団体の発表展示…10団体
フェスキャンペーン企画 ・お出かけ、謎解きクイズ クイズは各6地域福祉センターの掲示板と当日の学習センターを活用し、出題する。各自で散策してもらい当日、100名まで粗品を贈呈。

○ 介護予防・生活支援サービスの立ち上げ・運営支援

【住民主体通所型サービス】

○住民主体通所型サービス6団体への運営支援（情報提供、運営サポート、月例会議への出席等）を行った。

○新たな活動団体として、サロン「糸ん」（南宇治圏域）「絆の家」～憩いの場～（東宇治南圏域）なっちゃんファーム（槇島圏域）を立ち上げた。

【生活支援】

○訪問による訪問生活支援「母子草（ははこぐさ）」の運営サポートを継続的に支援した。
令和4年5月に介護保険における住民主体生活支援サービスとなる予定。

宇治市福祉人材研修事業

市からの受託事業として、市内の介護保険事業者を対象とした研修を10回実施した。

新型コロナウイルス感染症対策として集合での研修が開催できない場合は、Zoomによるオンライン研修とした。

◆実績

	研修名	実施日	参加人数
1	宇治市の行政施策とインフォーマルサービス	6月24日	34名
2	摂食・嚥下を学ぼう①～介護現場で活用できる嚥下のメカニズムと食事介助のポイントを学ぶ～	7月28日	26名
3	「事業所におけるリスクマネジメント～BCPについて学ぼう～」	8月27日	41名
4	今さら聞けない?!「自立支援に資する課題分析の視点」	9月14日	20名
5	介護支援専門員の基礎知識『倫理綱領』『介護予防プラン』をさらに詳しく学ぼう!	10月29日	24名
6	精神疾患のある方等へのケアマネジメントについて	11月25日	35名
7	事例から学ぶ - 地域包括・認知症施策・コロナ対策-	12月16日	35名
8	『高齢者の命と生活を災害から守るために』	1月19日	28名
9	「摂食・嚥下②」～ 嚥下とは?・食事の姿勢・食事の形態・誤嚥を疑う所見(サイン) ～	2月17日	16名
10	「介護職のためのストレスマネジメント」	3月24日	8名

産後ケア事業（訪問型）

宇治市福祉こども部保健推進課の事業である産後ケア事業のうち、訪問による家事支援の事業を受託し、介護福祉士等資格を有するサポーターを派遣した。

◆実績

実利用者数	33名
延べ利用回数	125回
延べ利用時間	221時間



利用者とともに 市民とともに